

基安化発 0906 第 2 号  
平成 24 年 9 月 6 日

全国健康保険協会理事長 殿

厚生労働省労働基準局安全衛生部  
化学物質対策課長

印刷事業場における胆管がんの発症に係る調査へのご協力をお願い

日ごろより事業場の化学物質管理の推進にご理解とご協力を賜り御礼申し上げます。先般、大阪府の印刷事業場において、校正印刷の業務に従事していた労働者が胆管がんを発症したとする労災請求事案があり、厚生労働省において原因究明の調査を進めています。印刷機の有機塩素系洗浄剤に含まれていた化学物質へのばく露が高かったと考えられることから、当該事業場に対する調査を継続して行うとともに、大阪市立大学の圓藤吟史教授を中心とする研究班が疫学的調査を行い、印刷業と胆管がんとの関連について調べることとなりました。

現在、研究班は、当該事業場の労働者や元労働者に対する調査を進める一方、全国印刷工業健康保険組合への協力依頼を行うこととしております。しかしながら、胆管がんの発症について業種ごとの差異を調べるためには、多様な業種を網羅し、かつ相当数の被保険者を抱える貴協会のご協力が不可欠と考えます。

つきましては、本事案の原因究明及び適正な労災補償に資するため、下記の調査にご協力をいただきたく、よろしく願いする次第です。

記

1 調査内容

業態別の胆管がん等の悪性新生物の受療率、罹患率の比較

2 調査方法

(1) 貴協会のレセプトデータと事業所情報との突合（被保険者本人の個人単位）

事業所情報は、産業分類別の業態による。

(2) 受療率、罹患率の比較に当たり、業態別の被保険者の性・年齢別数で補正すること。

なお、罹患率の算出は、個人を名寄せした患者数を被保険者数で割ることにより行う。

3 データの取扱い

データは、統計的に処理した結果を、処理手順を付して、研究代表者である大阪市立大学医学部圓藤吟史教授に送付いただきたいこと。

以上